

—大イベントの稲刈り稲こぎが終  
わってほっとした川崎先生。

### ◇台風 21 号がやってきた日・・・4 日 (火)

・午前中 3 時間で授業を打ち切りにして、早めに給食を食べて集団下校になった。でも台風の動きがいまひとつ読めない。天気予報も見るサイトによって微妙に大雨や強風の時間帯が異なる。12 時 30 分すぎに、子どもたちが下校を開始する。雨が強くなったり弱くなったり、風も巻いたり収まったりと安定しない。職員と一緒に下校するとはいえ、やはり心配。特に低学年の子どもたちは風の影響を大きく受けるから。でもこの時に保護者の皆様や地域の皆様の対応は素晴らしかった。すべての地域から迎えが来て、子どもたちは安全に下校することが出来た。近所で乗り合い全員車で送ってくださった地域もあった。本当にありがたいことである。

1 時 15 分を過ぎたあたりから天気は大荒れ。叩き付けるような雨と、うねるような強風が吹きつけ、学校の桜の大木も今にも折れそうなほど激しくゆらぐ。あと 30 分遅かったら、この暴風雨をもろに身に受けていただろう。ホッと胸をなでおろす。

### ◇台風 21 号が過ぎた翌朝・・・5 日 (水)

・朝から空が明るい。まずはこのことにホッとする。起きてすぐ田に向かう。稲を干したウシが倒れていないか様子を見る(私事です)。無事だ。ホッとする。そして学校に向かう。途中教頭先生とすれ違う。みんなが安全に登校できるよう通学路を見回ってくれている。細かな配慮にホッとする。学校は桜の小枝や葉が落ちてはいるものの、特に破損したり被害にあったところはない。ホッとする。

・早く学校にやってきた子どもたちが、ほうきを持ち出して小枝や葉をはいてくれている。次から次へと登校してくる子どもたちがそれにならう。気が付くと何事もなかったようにきれいな玄関前になっている。こういう姿を見ていると、何ともあたたかい気持ちになる。子どもたちに、その瞬間に何をしたらよいのか自分で考えて行動する力があるということ。見返りを期待したり、見栄でやっているのではなく、それが必要で当たり前だからやっている。そんな子どもたちが何とも愛おしい。

・そんな作業の中でも「校長先生、奥歯は大丈夫ですか？」と気遣ってくれる 5 年生の男子。うん、その言葉がなによりの薬だよ。

### ◇学校あれこれ◇

・6 年生教室のオープンスペースに、ビニールテープで作ったグラウンドの図がある。これ一体何するんだろう？休み時間に 6 年教室に行き、そこにいる 6 年生に聞くと、「綱引きの入退場をリーダーが覚えるためです」と言う。さすがあ～。こういう見えない努力の上には運動会は成り立つんだね。

・昼休みの応援練習を見に行った時田 t が興奮して戻ってきた。「いやあ、〇組の応援はすごい。この時期にここまですごい応援は見たことがない。圧倒された」。次の日に川崎もすべての組の応援をそっと見せてもらった。いやいやすごいなの！声が響く響く。思わず笑顔でうなずく川崎でした。(見てるのに気付いた男子が川崎の抜歯痛を心配してくれた。ごめんね気を遣わせて。でもみんなやさしいなあ～。恐縮ですく(\_)\_>>)